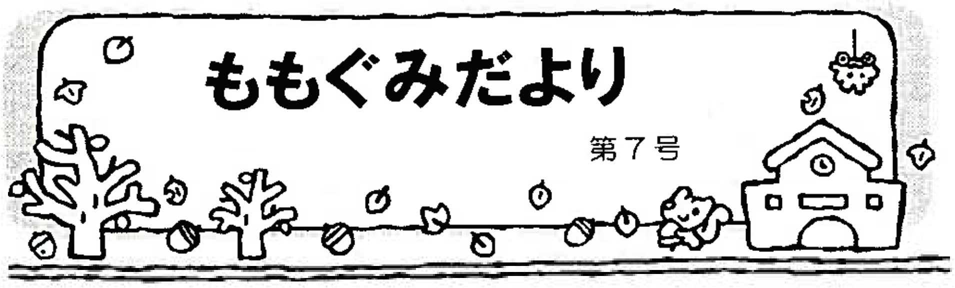


令和元年１１月２９日
荒川区立東日暮里幼稚園

日没が早くなり、秋から冬に移り変わろうとしています。これから冬に向かっていくにつれ、家で過ごす時間も長くなりますね。そんなときにはお子様と一緒にイメージを広げ、絵本の世界に浸ってみませんか？子ども達は遊びの中でも「先生読んで」と持ってきたり、友達と絵本の部屋で大型絵本を見たり、すみれ組さんが読んでくれて一緒にみたりと、絵本が大好きです。夕食後のちょっとした時間や寝る前、時間に余裕ができたときなど親子のリラックスタイムに絵本を役立ててみてください。お家の方の声を感じたり、ときには膝の上などで温もりを感じてスキンシップを図ったりすることで、お子様の心の栄養にもなると思います。まだ自分の好きなページをじっくりみたり、絵を楽しんだりすることも多いと思います。無理に読まなきゃと思わず、一緒に絵を見てイメージを一緒に膨らませたり、子どもの気持ちに寄り添ってみたりし、一緒にホッとする一息になったらいいなと思います。

**最近クラスで人気な絵本**

- かぜビューン　作：tupera tupera
- こわめっこ　作：tupera tupera
- 季節の本やいもほりなど楽しめるお話

## きのこ

保育室で育て始めたきのこ。「これなに！？」と興味深々で、ここからきのこが生えてくることだけを伝え、どの種類のきのこが育つのかは内緒にし、皆で楽しみにしていました。お世話は水を入れた霧吹きをシュッシュとかけるだけ。お水をあげるのも楽しく、毎日ニョキニョキ大きくなるきのこに、朝登園してくると「先生見て！」「おっきい！」と知らせてくれる子ども達でした。様々なきのこが載っている図鑑のページを見ながら、最初は「しめじじゃない？」と話したり、歌っているうたの歌詞に出てくる「まつたけかなー？」と話したりしていた子ども達。大きくなって収穫をしたきのこを見て、「やっぱりしいたけだよ！」と話していました。あまりの大きさに、「傘みたい」と頭にさす姿もありました。他のクラスや職員室に見せて運ぶときには大事そうにカゴにいれながら運んでいました。

## いもほり

春に植えたお芋の苗。水やりをしながら「早く芋掘りがしたい」と言っていた子ども達ですが、ようやく秋になり収穫ができました。２・３人で芋のつるを持ち、「うんとこしょ！」と抜くと、スポッっと抜けるお芋と、中々抜けないお芋もありました。また、袋の奥で大きくなっているお芋もあったので、袋から出し、手で掘りながら隠れているお芋を見つけました。連なっているお芋にニョロニョロしたヘビみたいなお芋。色々な形に見えると想像を膨らませたり、大きなお芋、小さなお芋と比べてみたり、土の匂いを感じたりし、五感をたくさん使いながら楽しんでいた芋掘りでした！

# おいしいものがたくさんできた収穫祭！

各学年が育てた野菜やお米、園庭で柿を収穫し、どんな物ができたか全員で見合いました。収穫祭当日はおにぎりパーティー！

すみれ組とたんぽぽ組がおにぎりを作ってくれました。もも組の分はすみれ組のペアの友達が作ってくれたので、よろしくお願いしますとお弁当箱を預けました。自分も作りたくて一緒に遊戯室までついて行ったり、どんな風に作るのか興味津々の子どもたちは遊戯室のドアから顔を覗かせじっと見たりしていたので、全員で作っている様子を見に行きました。近くで作る様子を見させてもらうと、「今〇〇ちゃんの作ってるからね」「もう作ったよ！」と教えてくれるすみれ組やたんぽぽ組の子どもたち。早く食べたくて待ち遠しそうなもも組でした。

お米の苗をくださった板橋さんもご招待し、みんなでいよいよ会食！すみれ組、たんぽぽ組のペアの友達が迎えに来てくれて、同じテーブルでご飯を食べました。作ってもらったおにぎりはとっても美味しく「おいしー！」「おかわりしてもいい？」と沢山おかわりする子の姿も。また、お味噌汁にはもも組も育てたしいたけやさつまいもが入っていて、すみれ組さんに「しいたけ美味しい!!」と言ってもらい嬉しそうな姿もありました。皆で同じ場で同じ物をいただくことで会話も弾みお腹も心もいっぱいになった収穫祭になりました。